

**埼玉県山岳連盟
埼玉岳連報 41 号**

発行者 森下健七郎

発行所 岳連事務所 天野賢一方

〒333-0823 川口市石神 179-40

編集人 岩井田正昭

発行数 1600 部

埼玉岳連

東日本大震災復興支援「とどけよう スポーツの力を東北に！」



新春懇談会・海外登山報告会が浦和にて開催

巻 頭 言 埼玉県山岳連盟会長 森下健七郎

新年、おめでとうございます。

昨年は 3.11 に未曾有の東北沖の大地震を契機に東日本大震災に見舞われ、日本全国民が打ち震えました。私達、埼玉県山岳連盟も震災地への復興支援に向けて、ささやかな各種の支援活動を行って来ました。本年度は、少しでも早く震災・復興をすべく「登山をベースに何が出来るか」を考えながら活動して行ければ・・・と思っています。

さて、私達の活動を振り返ってみると、5 月：日山協遭難対策委員研修会（上尾スポ研）／6 月：田中日山協会会長退任慰労会／10 月：海外登山・マナスルの全員登頂成功、山口国体（少年女子リード 4 位、ボルダー 6 位）皇后杯総合 9 位／11 月：関東地区クライミング大会及び 12 月：第 2 回全国高校選抜クライミング選手権大会（加須市民体育館）を主管・運営／等々・・・。上記、海外登山委員会・競技・選手強化委員会・ジュニア委員会以外では／指導・遭難委員会：登攀技術講習会・冬山遭難防止講習会・レスキュー講習会等の実施／自然保護委員会：自然観察会や各種の自然環境保護活動では環境省自然環境局長「自然歩道関係功労者」表彰を受賞／新たな動きでアルパインクライミング埼玉セッションの立上げ・活動／各種活動を伝える広報活動や公式 HP 公開運営／等々がありました。これに各地区岳連・各単会の活動も含めれば、まさに多岐・多彩な埼玉岳連活動になります。本年も又、会員皆様方の元気で活発な活動を期待しております。

埼玉県山岳連盟 新春懇談会

理事長 天野 賢一

埼玉県山岳連盟では今年森下会長からのご提案もあり、例年恒例の新年会を新春懇談会という新しい形で開催を試みました。新年会から一步進めて、国体選手や各種岳連事業での講師他お世話になった方々、また各種大会・海外遠征等で業績を上げられた皆様もお招きし、慰労や感謝の意味も込めた少し粋を広げた形での開催でした。

結果、52 名の参加をいただき大変盛況の懇談会とすることができました。同時開催しました「山のフリーマーケット」もおかげ様で好評をいただきました。招待者をはじめ、なるべく多くの方から新春のメッセージをいただく機会も作ったことから、和やかな中にも今年も岳連・各会ともに活発な活動が展開されていくムードが高まり、初めての新春懇談会ではありましたが、まずまずの成功であったかと思えます。特に準備や当日のスタッフの皆様は大変お疲れ様でした。

今年も一年どうぞよろしくお願い致します。

県岳連新春懇談会参加者 敬称略・順不同

《ご招待者》

樫浦純夫	国体選手（監督）
牛久保達二郎	加須市生涯学習部長
恵 秀彦	遭対委員会・講師
松隈 豊	自然保護委員会・講師
大山光一	マナスル登山隊隊長
風間 進	マナスル登山隊副隊長
細谷宣明	マナスル登山隊隊員
山際登志夫	ボリビア登山隊隊長
椎名正明	ボリビア登山隊副隊長
小川元章	山遊人・オーナー

《県岳連関係者》

浅見 豊	名誉顧問	恵流峰会
田中文男	名誉会長	浦和山岳会
平沼伸一	参 与	小川山の会
森下健七郎	会 長	高体連
柳原政一	副会長	小鹿野山岳会
石倉昭一	副会長	大宮 A C
福田 靖	副会長	たらっぺ山の会
天野賢一	理事長	遠峰山岳会
加藤富之	事務局長	深谷山岳会
野村善弥	指導委員長	あゆむ山の会
土屋正昭	競技委員長	K C C ・ B I N A
宇津木秀二	選手強化委員長	高体連
岩崎繁夫	自然保護委員長	戸田山の会
鈴木直樹	海外登山委員会	浦和溪稜山岳会
長谷川茂	企画委員長代理	熊谷山岳会

岩井田正昭	広報委員長
柴崎英保	理 事
柳沢重夫	
関根善昭	理 事
渋谷直克	理 事
堀江伸子	理 事
寺井繁美	
原 卓也	
吉田秀夫	理 事
計良寿彦	
熊谷 潔	代 表
岡野 敏	理 事
板橋秀吉	
小茂田利孝	
古峰 孝	代 表
岩崎元郎	主 宰
金澤和則	代 表
松本善行	
鈴木百合子	理 事
仙波義男	理 事
伊藤正孝	理 事
笠原数浩	代 表
秋元淑子	
渡辺安則	
大野文雄	
カミ・シェルパ	

川越山の会
川口市登山同好会
川口市登山同好会
浦和山友会
浦和西岳友会
桜草山の会
大宮山岳会
大宮 A C
J R 大宮山の会
東部登高会
蓮田山岳会
蓮田山岳会
蓮田山岳会
遠峰山岳会
K S C C
無名山塾
無名山塾
無名山塾
無名山塾
槻岳友会
防衛医大山岳同好会
彩・岳友会
彩・岳友会
彩・岳友会
山岳同人埼玉
山際氏友人
計 5 1 名

海外登山報告会

懇談会にさきがけ県岳連海外登山報告会が同所で開催され一般参加者含めて 40 人余が出席。森下県岳連会長の開会挨拶に続き、鈴木海外登山委員長の司会によりボリビア登山隊、マナスル登山隊の緊迫感ある映像を交えた報告が、約 2 時間に渡り行われた。

茨城岳連から埼玉・茨城ボリビア合同登山隊・椎名副隊長も遠路合わせて参加頂いた。広報・岩井田



開会挨拶の県岳連森下会長

【平成 23 年 10 月常任理事会 報告】

10 月 11 日（火）午後 7 時 30 分～
北本市中央公民館第 3 研修室

0. 出席：柳原副会長、石倉副会長、福田副会長、
天野理事長、瀬藤副理事長（遭対委員長）、土屋競
技委員長、鈴木海外登山委員長、岩崎自然保護委
員長、岩井田広報委員長、長谷川企画委員長、加
藤事務局長、塩谷事務局、竹中競技委員（計 12 十
1 名）

欠席：森下会長、野村指導委員長、宇津木選手
強化委員長、大石ジュニア委員長、町田事務局、
村岡企画。

1. 開会挨拶：（福田副会長）

※秋も深まり冬到来ですが、クライミング大
会が目白押し、よろしく御願ひ致します。

2. 報 告：

①9/17 清水武甲先生顕彰会・理事会・総会・懇
親会（柳原）※総勢 40 名程で和やかに開催。

※9/16 AED 設置依頼の文書を秩父市長宛提出

②9/24-25 高体連・北部地区新人大会（白泰山）

③9/25 高体連東部地区新人大会&コバトン中学
生大会（加須）

④10/1-4 第 66 回国民体育大会（山口県）▲天皇
杯 13 位 皇后杯 9 位 ※惜しくも入賞を逸す!!

○成年男子／監督：佐藤豊／選手：小峰直城・
杉卓洋▲リード 22 位 ボルダー 35 位

○少年女子／監督：岡野次男／選手：尾上彩・
坂井絢音 ▲リード 4 位 ボルダー 6 位

○総監督：天野理事長・支援隊：森下会長・小茂
田強化委員

⑤10/2 登攀技術講習会・指導員研修会（飯能・
天覧山）20 余名参加

⑥10/3 さいたまスポーツコミッション設立記念
シンポジウム・懇親会参加（石倉）

3. 協 議

(1) 第 13 回関東地区スポーツクライミング競技会
（11/13 日）について 〈土屋競技委員長〉

・実施計画・役員等→常任理事会後 打ち合わせ。
・10/17 が選手締切なのでそれに合わせ、10/21 付
けで第 2 次通知を出したい。〈土屋競技委員長〉

(2) 第 2 回全国高等学校選抜クライミング選手権大
会（12/24-25）について 〈大石ジュニア委員長欠席〉

※10/20 第 4 回実行委員会が、日山協で開催。

(3) ホームページについて

・投稿、更新マニュアルについて

8/30 欠席者へ当日のマニュアルコピー。取りあえ

ず操作してみましょう。 〈加藤事務局長〉

(4) 財政について（会費、事業等の検討）

〈加藤事務局長〉

・今後の予定等いろいろ案が出てきたが、財政検
討委員会？を作り、審議していくことにする。

※委員は、森下会長、柳原副会長、石倉副会長、
福田副会長、天野理事長、瀬藤副理事長、岩井田
委員長、長谷川委員長、加藤事務局長。

※開催日は、毎月 1 回理事会（常任理事会）終了後。

(5) 「第 2 回埼玉セッション」（10/29-30）について
岳連としての取り組みは→※後押しをしたいが、
取りあえずは、有志の取り組みということで、
様子を見ていく。まずは、「声がけ」や「広報」
での後押しをする。

(6) JMA『登山月報』掲載記事について

（11 未締切）※別途資料・執筆者※柳原副会長。

(7) 第 2 回『日本山岳グランプリ』候補者の推薦につ
いて ※別途資料

・埼玉岳連からの推薦は「平山ユージ」氏に。

※森下会長に折衝依頼する。 〈加藤事務局長〉

(8) 平成 23 年度『彩の国プラチナキッズ』発掘育成
事業における競技団体体験教室の検討会議の開
催について（11/2 14 時～16 時スポーツ総合セ
ンター）※別途資料 〈加藤事務局長〉

・参加者取り纏めは→※森下会長に御願ひする。

(9) 平成 23 年度積雪期登山講習会（1/14-15 那須岳
周辺）について 〈野村指導委員長欠席〉

※別途要項の通り例年どおりで実施→各会へ配布

(10) 長野県山岳協会創立 50 周年記念祝賀会（11/12
長野市）について※別途資料 〈加藤事務局長〉
埼玉岳連からの参加者は→※森下会長。

4. 各部からの報告等

①指導委員会

●10/2 登攀技術講習会・指導員研修会（飯能
天覧山） 20 余名参加

10/15-16 日山協登攀研修会（仙台にて開催）→
上級指導員養成講習会も兼ねる。

○11/12-13 アルパインクライミング B 級主任検定
員養成講習会（神奈川県立山岳 SC）

②競技委員会

○11/13 第 13 回関東地区スポーツクライミング
競技会

○12/11 第 24 回県民総合体育大会コバトンクラ
イミングカップ ※要項配布済み

○12/24-25 第 2 回全国高等学校選抜クライミン
グ選手権大会

※国体でのタトウー、ピラスについて→実際に鼻
のピラスや宗教上のネックレス等があった。

③選手強化委員会

●10/1-4 第 6 6 回国民体育大会 (山口県)

▲天皇杯 13 位、皇后杯 9 位

○成年男子／監督：佐藤豊／選手：小峰直城・杉卓洋 ▲リード 22 位、ボルダー 35 位

○少年女子／監督：岡野次男／選手：尾上 彩
坂井絢音 ▲リード 4 位 ボルダー 6 位

○総監督：天野理事長 / 支援隊：森下会長・小茂田強化委員

④ 遭難対策委員会

●9/23～25 日山協山岳レスキュー講習会 (富山) ※鈴木、松本 (山塾)、片山 (あゆむ)、瀬藤参加

●10/1 レスキュー研究会は延期。

○11/26-27 冬山遭難防止餅修・講習会 (スポーツ総合センター) ※実施要項配布済み

⑤ 自然保護委員会

○10/15-16 日山協自然保護委員総会・6 名参加

○10/20 環境省長官賞授賞式 10:30～県環境部
※岩崎・天野・岩井田参加

○12/17-18 雲取山自然観察会

⑥ 海外登山委員会

●9/4-10/10 『彩の国マナスル登山隊 2011』

大山光一・風間 進・細谷宜朗 10/4 全員登頂。

○エベレスト登山隊 隊員募集について

⑦ ジュニア委員会

●9/24-25 高体連北部地区新人大会 (大滝げんき
プラザ～二里観音～白泰山)●9/25 高体連東部地区新人大会・リード競技 (兼中
学生大会) (加須市民体育館)○10/30-31 高体連西部地区新人大会 (吉田町柴
崎ロック)

⑧ 広報委員会

○10/06 第 40 号発行

⑩ 事務局

○日本体育協会公認スポーツ指導者表彰→新井宏
司氏受賞:12/18 全国研修会で表彰

○日山協 還付金関係 ※別途資料参照

5. 閉会挨拶 (石倉副会長)

※マナスル隊、登頂おめでとうございます。

※さいたま市岳連の講習会で、「山岳共済」加入を
勧めています。他の機会でも進めて岳連の還付金
増加に貢献しましょう。

【平成 23 年 12 月常任理事会 報告】

12 月 13 日 (火) 午後 7 時 30 分

北本市中央公民館 第 3 研修室

0. 出席：森下会長、柳原副会長、石倉副会長、天野
理事長、土屋競技委員長、岩崎自然保護委員長、
大石ジュニア委員長、岩井田広報委員長、長谷川企画委員長、加藤事務局長、塩谷事務局、田中名誉
会長

欠席：福田副会長、瀬藤副理事長 (遭対委員長)

野村指導委員長、宇津木選手強化委員長、鈴木海
外登山委員長1 開会挨拶 (柳原副会長) ・大変寒くなりました。
アツという間に今年最後の常任理事会となりました。
慎重なご審議をお願いします。2 挨拶 (森下会長) ・12 月も押し迫って高校
生大会があります。宜しくお願ひし居ます。

3 報告

① 11/12 長野県山岳協会創立 50 周年記念祝賀会 (長
野市) 田中名誉会長参加② 11/26-27 冬山遭難防止研修・講習会 (スポーツ総
合センター) 26・45 名/27・45 名参加③ 11/20 あゆむ山の会創立 50 周年記念祝賀会 (う
らわ市岳連を中心に 80 名位参加)④ 12/11 第 24 回県民総合体育大会コバトンクライミ
ングカップ。76 名参加

4 協議

(1) 第 13 回関東地区スポーツクライミング競技会会
計報告について<加藤事務局長>※別紙 →承認(2) 第 2 回全国高等学校選抜クライミング選手権大
会 (12/24-25) について <大石ジュニア委員長>※経過報告 12/11 実行委員会報告→協力できる人が
居ましたらお願いします。観客動員をお願いします。※12/19～21 ホールド外し、12/22～23 ルートセット
23 日午後 4 時県外・役員集合 12/23 7:30 役員集合

(3) 県岳連新春懇談会について <森下会長>

①日時：平成 24 年 1 月 29 日 (日) 午後 5 時 30 分
から②会場：さいたま市民会館うらわ 705・706 号室
会費：5000 円。立食型式。③招待者等：本国体選手監督・加須市長・講習会
講師 (佐藤・恵・飯田・松隈他) ・協賛企業・

HP 高尾・県外セッター等

④参加者：理事・各会代表者・会員・参与・関東
大会等選手等⑤催し物企画：山用品・本・お酒等持ち寄りバザ
ー (半額は岳連へ寄付)、岳連関係映像紹介等⑥準備等：○案内状と招待状の配布 12/20 位まで
○出欠席の取り纏め：1/20 (金) 天野宛

○会場との連絡：岩井田

(4) 公認指導者養成講習会について (12/16 締切)

・各会からの連絡は→アルパイン関係 2 名のみ。
少ない。→24 年度は講習会無し。

- ・国体監督としては→今のところ間に合っている。
希望者無し。→24 年度は講習会無し。
- (5)飯能市天覧山の岩場使用について〈天野理事長〉
 - ・別紙報告→現状は自粛→年明けには、ルールを確定し使用できる方向で！！
 - ※別件で「東吾野駅」近くに、大野文雄さんが岩場を開拓。講習会で利用できる規模。詳細は？？
見てみたい、使ってみてみたい方は、大野文雄氏に直接連絡されたし。※県岳連への公開は、後日。
 - ※他に、もう少し規模の大きな壁も開拓整備中とのこと。2 月頃協力できる人は協力願います。
- (6)平成 23 年度日山協表彰の推薦について
(12/5 締切) 〈加藤事務局長〉
 - ・23 年度推薦は田中名誉会長、森下会長、三役に委任
- (7)平成 23 年度埼玉県体育功労賞の推薦について
〈加藤事務局長〉
 - ・23 年度推薦は→瀬藤副理事長（遭対委員長、日山協遭対常任）
- (8)小鹿野町トレイルランニング大会（意見交換会 11/22）報告 〈柳原副会長〉
 - ・県が提案し、NP0 が企画→小鹿野町が了承の予定→両神のあづまや山周りでトレイルラン大会の実施 5/27（日）※支援依頼があれば地元を中心に協力。
- (9)関東地区山岳連盟総会（2/11-12 茨城県ひたちなか市ホテルニュー白亜紀）について
 - ・会費：12000 円 / 人・分担金：10,000 円 / 県※1/15 締切
 - ・参加者：田中名誉会長・森下会長・天野理事長・（石倉・福田・加藤？）
 - ・報告事項：関東地区スポーツクライミング競技会の報告・印鑑引継
 - ・提案事項：①「関東地区スポーツクライミング競技会」の継続について→天野理事長
- (10)公益社団法人日本山岳協会の会長、副会長、監事候補者の推薦について（12/12 まで）〈石倉副会長〉
→平成 23 年度の役員に引き続きお願いしたい。
- (11)財政について（会費、事業等の検討）
〈加藤事務局長〉
 - ・11/8 の報告 ①会費等は変更せず、②賛助会（参与、各会の OB、役員経験者等）を結成し、ご協力をお願いする。③講習会等の充実（収益が上がる事業の実施 ※ご意見があれば！
- (12)その他
 - ・日山協新春懇談会（1/14 土 13:00～アルカディア市ヶ谷）の案内状が来ました。岳連用 1 部、参加費：壱万円 ★12/16 締切
 - ・ホームページへのメールの受け答えについて→ある会員の HP を見て、所属上部団体の県岳連へ投稿あり→今後このようなことが増えるでしょう。対応策を考えておきましょう。

- ・11/27 飯能市で「Let's 飯能暮らし体感イベント」を開催。クライミングが一番盛況であった。
（昨年度、協賛承認事項→3.11 の地震で延期→今回開催）（森下）

5. 各部からの報告等

①指導委員会

- 11/12-13 アルパインクライミング B 級主任検定員養成講習会（全国研修会）（神奈川県立山岳 SC）
○1/14-15 積雪期登山講習会・指導員研修会（遭対委員会と共同開催）
○2/25-26 積雪期緊急避難講習会（遭対委員会と共同開催）
○2/11-12 日山協氷雪技術に関する指導員の教育と研修及び A 級主任検定員養成講習会・上級指導員養成講習会（大山）
○3/18-20 日山協氷雪技術に関する指導員の教育と研修及び A 級主任検定員養成講習会・上級指導員養成講習会（富士山）

②競技委員会

- 11/13 第 13 回関東地区スポーツクライミング競技会 (62 名参加)
- 12/11 第 24 回県民総合体育大会コバトンクライミングカップ (76 名参加)
- 12/24-25 第 2 回全国高等学校選抜クライミング選手権大会（加須）
○2/4-5 日山協競技委員会ブロック別研修会（関東地区）・東京 土屋・
※競技運営認定・C 級クライミング審判員認定

③選手強化委員会

- 11/5 強化練習会・加須（講師：森下 青木・渡邊・八戸・水村）
- 11/16 山口国体埼玉選手団解団式 埼玉会館小ホール（天野・岡野・宇津木・少女選手）
- 11/18 競技別強化対策会議 スポーツ総合センター（天野・宇津木・岡野・檜浦）
○12/24-25 第 2 回全国高等学校選抜クライミング選手権大会・加須
※日山協推薦選手：尾上彩（武南）／青木大輔（久喜工）／古畑和音（越谷東）県推薦選手：八戸大紀（小松原）／水村翔（坂戸）／鈴木ななみ（伊奈）／滝沢佑奈（上尾南）

④遭難対策委員会

- 11/26-27 冬山遭難防止研修・講習会（スポーツ総合センター）
○1/27-29 日山協積雪期レスキュー講習会（土合・定員 40 名）※瀬藤 ★毎年、参加希望者が多く、参加できない人が居ます。希望者はお早めに。
○レスキュー研究会は延期 →実施日（後日連絡）

⑤自然保護委員会

●11/26 日山協自然保護委員会研修会（オリンピック青少年センター）

○12/17-18 雲取山自然観察会 ※実施要項配布済み ※参加予定者 35 名

○1/29 自然保護指導員研修会・北本 13:00～16:00

⑥海外登山委員会

●12/3-4 例会・忘年会

●12/6:日山協/海外登山女性懇談会（東京・神田）

○エベレスト登山隊（2012 年春）隊員募集について（11 月末締切）→無し→計画の見直し中

○アイランドピークへのトレッキング隊（高所順応を兼ねて）を編成。→計画見直し中

○1/29（日）15:00～さいたま市民会館うらわ にて、「海外登山報告会」を開催。

⑦ジュニア委員会

●11/22 高体連・冬山机上講習会 久喜高校 講師：小茂田理事 他

○1/21-23 高体連・冬山指導者技術講習会（南八ヶ岳）

○2/18-20 高体連・県新人大会（山スキー・ワカン）（安達太良山系：新野地温泉）

⑧広報委員会

○1/31 第 41 号発行予定 2 月 2 週に配布予定 ※別紙

⑨企画委員会

○企画提案書 来年中頃に向けて検討中

⑩事務局

○日本体育協会公認スポーツ指導者表彰→新井宏司氏受賞：12/18 全国研修会で表彰

○冬山登山の事故防止について 文化省より通達・リーフレット

6. 田中名誉会長挨拶 ・何時もお世話になります。今年もカレンダーを作成しました。

7. 閉会挨拶 （石倉副会長）・日山協の常務理事会でも財政について見直しをしています。来年度の県岳連の負担金の請求額が変更される予定です。

□次回

※1 月 10 日に予定しました理事会は、1 月 29 日に新春懇談会が開催されますので中止します。

●新春懇談会 1 月 29 日（日）17:30～20:00 頃
さいたま市民会館・うらわ

■常任理事 2 月 14 日（火）19:30～21:30
北本中央公民館 第 3 研修室

■理事会 3 月 13 日（火）19:30～21:30
北本中央公民館 第 3 研修室

■理事会・評議員総会 4 月 15 日（日）13:00～17:00
北本中央公民館・第 3 会議室

大霧山登山及び台風 15 号における、 登山道被害調査修復作業報告

記・川口市登山同好会 内田文子
（県立公園指導員）

期 日：平成 23 年 10 月 26 日（水曜日）

場 所：大霧山

参加者：柴崎秀保、今井由利子、恩田勝紀、木村てる子、阿部和子、若狭千江子、榎本初江、（県立公園指導員：鷹取秀宣、千葉弓子、内田文子）10 名。

行 程：南浦和 6:38～北朝霞～小川町バス停 8:24～白石車庫 9:10～定峰峠 10:20～旧定峰峠 11:10・大霧山頂上 11:50・大霧山 12:50～粥新田峠 13:15～栗和田集落～橋場バス停 14:44～小川町 15:09～川口解散

作業内容：

林道から各自ゴミ袋を持ちながら登山口から清掃登山も兼ねる。今回の作業内容で多かったのは登山道での、清掃と細い倒木の片付け、杉の枯葉小枝の片付けがおもでした。特別な作業の内容最初の林道をわたってから少し入った所で登山道では無いが、ヒノキが電線らしき線に引っかかってヒノキの根も土から出てしまっていた。見るからに危なそうなので、勝手ではあるが伐採することにする。林道を何回か横切ののだが、林道が近くなると明らかに車道から捨てたと思われる生活ごみが多くなる。定峰峠まで出なくなる。その後、定峰峠からしし岩との間の登山道にて倒木があり持ち上げ不能なので伐採することにする。旧定峰峠までに、もう一箇所太い倒木があり伐採する。

【検討依頼事項】：※県立自然公園内の各登山コースでのゴミ収集が普段の登山活動でも出来る（実施する）為に収集ゴミの一時保管場所（預り場所）を各登山コース登山口（下山口）に設置する様に関係市町村と協議して戴きたいと思います。



大霧山登山口にて調査前の打合せ

第 2 回埼玉クライマー・ミーティング 2011 報告書

記：深谷山岳会 岡田 修



R6 すべり台をリードする大山氏

■日 時：平成 23 年 10 月 29 日（土）～30 日（日）

■場 所：松木沢（ジャンダルム・ウメコバ沢）

■参加者：（五十音順・敬省略）

※埼玉岳連

浦和溪稜山岳会：瀬籐武/遠峰山岳会：稲葉龍太郎、
藤井大輔、東家友也/大宮アルパインクラブ：藤森久美、園田
明、菅原久美子/たらっぺ山の会：福田靖、石橋修/深
谷山岳会：加藤富之、岡田修、室賀啓希/無名山塾：鈴
木百合子

※栃木岳連

宇都宮溪嶺会：矢嶋真一、勅使河原暁、上小牧憲弘、
松村祐介/宇都宮クライミンググループ・ト・ミツジ：大山俊
和、中三川晃利、萩原洋一/宇都宮白峰会：小林和久

※ゲスト：松本CMC：馬目弘仁氏

■開催の経緯

今回は、2011 年 6 月に「第 1 回埼玉セッション」と称して始まった埼玉県岳連に所属するアルパイン志向の有志による集まりの 2 回目として、栃木県足尾松木沢で開催することになった。ただ今回は偶然にも「栃木クライマーズ・ミーティング（以下栃木CM）」と同日同場所開催となったことがわかり、栃木と親交のある稲葉氏（遠峰）の計らいで「合同ミーティング」という形を取るようになった。またいろいろ内容を検討していく中で、栃木が地元として、設営・ルート設定・メンバー編成等ホスト役を務めていただけることになり、当日を迎える。

■行動概況（敬称略）

10/29（土）6 時頃集合、自己紹介、メンバー編成、出発。

ウメコバ沢

○馬目+小林＝白峰会ルート・パロパロルート・スーパーフレク

○大山+岡田＝右ルート・R6 すべり台

○勅使河原+加藤＝ちこちゃんルート・R6 すべり台

○藤井+東家＝凹角ルート

ジャンダルム

○矢嶋+瀬籐+園田＝右壁天狗岩グレイト・中央壁直上
○上小牧+室賀+菅原＝右壁チムニート・中央壁中央ルンゼ
○稲葉+鈴木+藤森＝中央壁直上ルート・右壁フォックスソ

16 時半～19 時頃 パーティ毎に帰幕した順に宴会設
営の準備。全員揃ったところで乾杯。

6/19(日)各自起床、朝食、6 時過ぎウメコバ沢組が出発。

ウメコバ沢

○大山+中三川＝直登ルート

○小林+加藤＝スーパーフレクルート

○勅使河原+稲葉＝凹角ルート

○松村+藤井＝ちこちゃんルート

15 時頃、帰幕。あいさつ後解散。

■所感

今回は「他会の人とザイルを結んで一緒に登る」を実践できました。しかもその日初めて会った人と一緒に登るというオマケ付き。アプローチから山歴の探りを入れたり、立ち振る舞いをお互い観察し、緊張ムード漂う中、取り付きに到着。登攀準備もお互いの視線がバチバチ（笑）そして登攀開始。見知らぬパートナーの前で最初のピッチをリードする人は緊張したのではないのでしょうか。フォローが終了点につき、ビレイ解除。言葉を交わす。ここで初めて純粹に岩に向かい合えたような気がします。どこの誰でも構わない。今日はこの人と楽しんで登れそうだ。パーティの成立です。

多かれ少なかれ、このような感想を持った人は多いのではないのでしょうか。初見ルートを初見の人と登ることは大変刺激的です。ビレイしているとザイルの伸び具合で様々なことを考えます。最初は「人」のことを考えていたのに、そのうち「ルート」のことだけを考えるようになります。その時はわからなかったけど、今考えるとそう思います。我ながら（まだヒョッコですが）クライマーだなーと感じます。

そして登り終えれば、もう「仲間」です。たかだか数時間のことですが、密度の濃い緊張感の楽しみを共有した者同士、話は弾みます。登攀後の交流会では栃木・埼玉分け隔てなく酒を酌み交わして、楽しく過ごすことができました。

今回のミーティングは参加人数が多いこともあり、埼玉だけでなく栃木の方々も加わったことで、数倍楽しくなったと思います。「アルパイン」という非常に狭い世界のなか、方向性が似た者同士、形式ばらずに人づてで輪を広げていければ、より楽しく充実した登攀ができるものと確信します。

最後になりますが、栃木岳連の方々には何から何まで大変お世話になりました。お陰様で、松木沢の岩を楽しむことができました。

■今後の展望と課題

岩が実践できたので、次は冬季登攀ができればと

考えます。いろいろな意見を出し合って、この集りがより楽しくなるように、先に進んで行きましょう。

■参加者所感

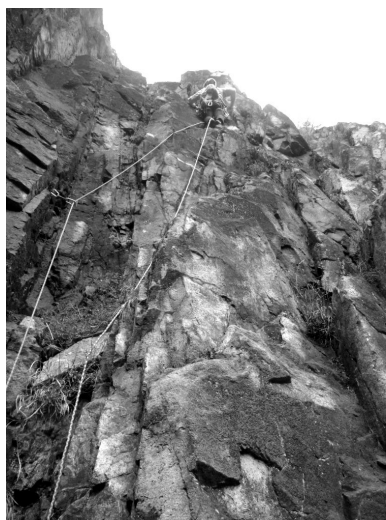
☆石橋 修（たらっぺ山の会）

栃木は若い（30～50）世代の方でアルパイン志向の人が多いのには驚きました。岳連の垣根を越えてこの世代の方が新しい試みをされていてパワーがあるなど感心してしまいました。埼玉岳連に所属する会で「クライミング」を主体とする会がまず少ないということもありますが栃木は「クライマー色」が濃かったですね。「SCM」は新しい模索で良いと思いました。埼玉岳連もマンネリ化していて、今期一番の収穫だったのではないのでしょうか。顔ぶれは知っている方が多いですが徐々に進化していけばいいので。あと今後は岳連などの組織に属さず登られている方もいるはずなので何らかの方法で招集し参加してくれると面白いですね。松木沢では、大変貴重な体験をする事が出来ました！

☆藤森久美（大宮アルパインクラブ）

ボルトのない岩にはまだ登った事のないマルチ初心者の私達にとっては、ナチプロは画期的であり、全てが新鮮であり驚きの連続でした！そして、ベテランの方々の巧みな技術をまじかで拝見する事ができ、更にマルチも一緒できた事はとても光栄であり、良い勉強になりました！松木沢の岩は劣化し、もろくはありましたが、とても魅力的な岩でしたので是非ともまた登りたいと思っています！

今後、皆さんに少しでも近づく事の出来るよう、ナチプロ技術の課題を前向きに取り組んでいきたいと思っています！夜のバーベキューも豪華で、楽しかったです♪皆さんとお逢いする事が出来て、本当に嬉しかったです。又の機会がありましたら宜しくお願いします。ありがとうございました！（^-^）



右ルートを1Pリードする大山氏

*編集注・文/写真とも岡田氏投稿

第2回 日本山岳遺産サミット 開催



認定証を手に菅沼さん（左）、炭さん（右）

平成 23 年 11 月 3 日・銀座・時事通信ホールにて『第2回日本山岳遺産サミット』が開催され、参加者 250 名余、昨年甲府で開催された、初回の倍以上の参加があり、事業への関心の高さが表れていました。埼玉県岳連からは大山光一（山岳同人比企）、風間進（浦和溪稜山岳会）、新井邦男、岩井田正昭（川越山の会）が参加、田中文男（社）日山協顧問（県岳連名誉会長）はアドバイザーボードとして出席。

2011 年度の日本山岳遺産に選ばれた『早池峰にゴミは似合わない実行委員会』の菅沼賢治さん、及び『泉・五家荘登山道整備プロジェクト事務局』の炭尚之さんが関本彰大・日本山岳遺産基金会長（榊山と溪谷社・代表取締役社長）から日本山岳遺産認定証を授与されました。軽妙な語り口で早池峰のトイレ問題を報告した菅沼さんに大きな拍手があり、又泉・五家荘の登山道整備に打ち込むプロジェクトチームの地道な活動に沢山の拍手も。また特別講演に三浦雄一郎さんと三浦豪太さん親子でのトークがあり会場を盛り上げました。 記 広報委・岩井田

■日本山岳遺産基金とは

【登るチカラ】【感じるチカラ】【生きるチカラ】

「日本山岳遺産基金」は、山と溪谷社が 2010 年、創業 80 周年の記念事業として設立した基金。

日本の山岳自然環境・文化を再発見し、それらの保全と地域の活性化、安全登山に資するための活動を支援する。また、山を知る行為としての「登山」が、次世代を担う青少年の健全な精神と肉体の発達、自然環境への正しい理解の助けとなることを認識し、そのような次世代の育成を目的とした活動を行う自治体や団体を支援する。

●支援活動

- 【1】次世代育成活動・啓発活動
- 【2】山岳環境保全活動
- 【3】安全登山啓発活動

第13回関東地区スポーツクライミング競技会

加須市民体育館：2011/11/13

競技会 総合成績

- リード男子 1位：村井隆一・船橋東高校
 2位：波田悠貴・春日部市立緑中学校
 3位：新川祐希・千葉工業高校
- リード女子 1位：竹内彩佳・渋谷教育学園幕張高校
 2位：坂井洵音・川越市立砂中学校
 3位：五月女美元・宇都宮白楊高校

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

第24回県民体育大会・バトクライミングカップ

加須市民体育館：2011/12/11



素晴らしいクライミングを見せたミドルの入賞選手

競技会 総合成績

- リード・ミドル 1位：本間大晴・PUMP1
 2位：菊沢 洵・LKCC
 3位：比企千織
- リード・ビギナー 1位：矢部 叶・ロックRAFT川越
 2位：森 正夫・スポーツクライミングジム
 3位：神田 慎・JSCC
- リード・ジュニア 1位：高島悠吾・
 2位：比企将大・
 3位：土肥圭太・
- トップロープ・一般 1位：松本勇人・久喜工業高校
 2位：高山奏子・
 3位：石井昂大・春日部工業高校
- トップロープ・キッズ 1位：曾我綾乃・PUMP1
 2位：鈴木萌美・PUMP1
 3位：園田涼一・



バトン 加須の壁に挑む！

第2回全国高校選抜クライミング選手権大会

加須市民体育館：2011/12/24-25



(社)日本山岳協会・神崎会長の開会挨拶

競技会 総合成績

- リード男子総合 1位：是永敬一郎・京北
 2位：村井隆一・船橋東
 3位：古畑和音・越谷東
- リード女子総合 1位：竹内彩佳・渋谷幕張
 2位：水口 僚・岐阜
 3位：安田あととり・山梨
- 男子リード学校別 1位：津山高専 (小福田+小福田)
 2位：竹田 (一宮+島田)
 3位：鳥取中央育英 (高田+高力)
- 女子リード学校別 1位：新南陽 (山縣+蔭谷)
 2位：幕張総合 (飯田+竹下)
 3位：富士宮西 (青木+村松)



選手宣誓 岡部選手と佐藤選手

選手宣誓は被災地から参加した福島県立白河高校・佐藤凛一選手と福島県立安積黎明高校・岡部穂穂選手の力強い宣言で行われ、2日間に渡るクライミング競技が開幕された。

昨年度に引き続き開催した大会は『第2回全国高等学校選抜クライミング選手権大会』と名称を変えて行われた。大会は35都道府県から88校136名が

参加。個人別順位、学校別順位を競って加須市民体育館・常設会場で行われた。

2 日目は初日の予選を通過した男子 8 名、女子 12 名によって決勝がおこなわれ、男子部門は予選から全完登の是永敬一郎（京北）、女子部門は新鋭・竹内彩佳（渋谷幕張）選手が優勝した。学校別は男子部門・津山高専（小福田＋小福田）及び女子部門・新南陽（山縣＋蔭谷）がそれぞれ栄冠を手にした。

又、田中杯が田中文男・（社）日本山岳協会顧問（前日本山岳協会会長）から男女それぞれに記念品とともに贈られた。チーフрутセッターは平松幸祐が行った。

記 広報委・岩井田

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

投 稿

【北インド・ヒマラヤ登山隊 報告】 敬省略

奥武蔵学友会 新井宏司

北インド・世界遺産に登録されている花の谷と

シース教の聖地ヘムクンドを訪ねて

期 間： 平成 23 年 7 月 2 日～14 日：13 日間

隊員構成： 登山隊団長：新井 宏司
登山隊長：初野 正一
登山副隊長/ガイド：宮澤 喬男
登山副隊長：佐藤まさ子
医療（看護師）：安間 和枝
総務担当：森田 美子
記録担当：初野 君子
食糧担当：園田たつの
インド人ガイド：2 名



左から宮澤副隊長、初野隊長、新井団長、他の皆さん

7/2・成田～キルティガール

当会が創立 20 周年を迎えるに当たり記念事業の計画を立て、平成 22 年度の総会において遠征隊を送ることが承認された。当初の計画は世界の最高峰エベレストを見たいとの希望も有り、カマンズよりルナを経由のエベレスト街道を含め、北インド・ヒマラヤの世界遺産に登録さ

れている花の谷とヒース教の聖地で標高は 4,320m ガンジス河の源流、2 案でスタートした。12 月インド中の宮澤氏が帰宅した時の提案で 5 年前のロータス・チャンドラールより地図上では左側で、花の谷とガンジス河の源流がソリヤからヘムクンドとのことでした、期間はインドの夏休は、6 月なので休みが終わる 7 月と決定した、7 月 10 日はインドへの便が無いので、7 月 2 日出発、7 月 14 日帰国と決定した。7 月 2 日飯能駅発 5 時 03 分に乗車し所沢駅より成田国際空港行きバスにて成田へ向かい定刻より早め着いた。旅行代理店の、今回同行する小嶋さんと合い荷物を確認し出国手続きを済ませ AI の搭乗口へ間があるので搭乗時間まで自由解散となった。AI307 便は定刻 11 時 30 分離陸した、『この飛行機は現在順調に飛行しています』と、機長よりのアナウンスがあり、デリーインデラ・ガンディー空港に現地時間 17 時 15 分に無事着陸、飛行時間は約 9 時間 30 分であった。現地滞在の宮澤氏の出迎えを受けてデリー郊外の宮澤宅に宿泊、予定通りの一日が終わった。《記：新井》

7/3・キルティガール 晴れ

4 時起床、朝食は（ピザコーヒー、マトジューズ）を食す宮澤氏のマナール SPI ゲストハウスを 5 時 25 分発。10 人乗りマイクロバス、キルティガールへの途中でガイドのワム・ポクさん 28 才と弟ワム・フォンさん 23 才の二人がいた。チッタラントにて野菜の天ぷら、マンゴージュース、ポテトサラダを食す、ルキーの街には大学が 16 校もある学園都市通りハトリの聖地を通り（沐浴場）15 時 10 分。ゲストハウスで作って頂いたサントイッチを食べ、キルティガール出発、キルティガールのゲストハウス・ナダールに着く夕食は外で食べる（ナン、タンドリチキン、スープ、チキンカレー）等、街中には沢山の牛がいるが何処で寝るのだろうか？ホテルに戻りシャワーを浴びるお休みなさい。《記：佐藤、園田》

7/4・キルティガール・バドリナート・晴れ

5 時起床食堂にて（ナン、ナ）を食べ 8 時出発、約 1 時間走った所で大規模な崖崩れの為 30 分ほど待った、その後パンク（後輪の右側）タイヤを交換し、パンクの修理中にトイ済ませ出発。又も崖崩れに合い、ピライにて昼食（ナン、ダルカレーモンゴ）14 時 15 分発、ゴビンカート、明日からの登山開始地点を通過、標高 3,096m バドリナートのホテルグックに 18 時 10 分に着いた。玄関よりニールソト峰標高 6,800m が見えた、街に出かけ温泉と寺院を見学し 20 時より夕食（ナン、ヤギガ、サラダ、マトジューズ、ジャガイモカレー煮ベジタブルスープ）を食べるその後、買い物に出かけて 22 時 30 分頃ホテルに戻ると、扉が閉められていた、アクシデントの続いた一日、細く曲がりくねった厳しい山道、時々小さな名も知れない花が咲いていた、しは不安な気持ちを和らげてくれた本当に遠いヘムクンドへの道です。《記：佐藤、園田》

7/5・バトリート・ゴビガナード・ガンカリヤ・小雨 曇

朝食も摂らず 6 時そそくさと出発した、15 分程走った所に第一ゲートがあり 5 時 30 分と 7 時 30 分でないとゲートが開かないとの事、宮澤氏がチップ 500 ルピーを渡してゲートを開けてもらった、第二ゲートは無事通過できチップの有難さを痛感する。ブレーキのトラブルが発生して停車、ブレーキオイルを注入し無事終了する。急坂で一步まちがえれば地獄の底に転落の悪路であった。途中で乗用車が落ちているのを目の当たりにし、ひたすら運転士さんの腕を信じるのみ。イスラム教の聖地があるからとのことで、車の通りはたいへん多い、車の中では(夕べは寒かったネとかの話で賑わう)バトリートは標高が 3,000m を越えている、皆が何の為? と顔が曇ったがゴビガナードまであと 5 分位のところにゲートもあり閉まっていた、待ち時間で朝食を摂るが名前のわからない揚げ物とチャイがおいしかった。8 時 45 分標高 1,850 m 登山の出発点ゴビガナードに着いた。ガンカリヤまでの荷物を馬に預けて、私達は水と行動食、ヘッドランプ、雨具の入ったザックを背負い出発した。12 時暑さの中、急登で高度をかせぐのは、きつく次第に息も荒くなり、この先のことを考えて全員が馬に乗る。チャイで小休憩しナンやチャイで遅い昼食を摂った、15 時 30 分標高 3,075m のガンカリヤの山小屋(ホテル)に無事着いた。乗馬は初体験の人がほとんどでしたが、それなりに楽しかったの? との会話でした、途中から雨に降られたので無理せず馬のお世話になったのは正解? との話もあり本音かも、山小屋に荷物を置いて近くの滝まで散策し、買い物をした。19 時よりガイトの知り合いの店に明日登山する第一峰の、世界遺産に登録されている花の谷と動物達の、ビデオを見せてもらう、近くのレストランで夕食を済ませて、21 時小屋に戻った。

《記：安間、森田》

7/6・ガンカリヤ・花の谷・トレッキング 曇り後小雨後曇り

起床 4 時 50 分から近くのレストラン(ガルフ)で、朝食の予定であったが新井・宮澤さんが朝寝坊? 5 時 20 分に起きたそうで、朝食は 6 時となった、チャイ、バターtoast、レストランでガラパンニ(熱いお湯)をもらい日本から持参したイトルご飯(赤飯・山菜おこわ)にお湯を注いで昼食の準備ができた。ガイトのボクさんのザックに入れてもらい、6 時 40 分世界遺産に登録されている目的地、花の谷を目指して出発する。花の谷の入口に料金所があり入場料を払う。山小屋があるガンカリヤでは沢山の人々で賑わっていたが、花の谷は人がいなく自然の静けさを取り戻して、沢の音や野鳥の囀る声でとてもよかった、8 時 30 分頃標高 3,295 m 地点では雲の晴れ間からイトル最高峰カメット 7,756m の峰々が薄らと確認できた。この峰の稜線の向かい側は中国領パット高原である。切り立った岩山や雪渓、雪どけ水で唸りをあげながら流れる川に圧倒されながら、足元に咲くや

さしい花々に疲れも薄らいで行く様でした、小雨が降ったり止んだり時々日も差した天気であった。9 時 30 分過ぎから本格的な花の谷の入口の所で小休憩、お腹が空いてきてきたので少し腹ごしらえする。人影もまったくなく静けさを保っていた、大雪渓や川を渡ったが、一日ではとても踏破出来ないとのこと標高 3,345m 地点のカール状で大きな河原ガソス河の源流のところで折り返した。名も知れない白い花が一面に咲き、千鳥草・桜草・麝香草・勿忘草・風浪草・大根草・白やピンクのハマス・黄色い百合一面のお花畑など色々な花がさいていたが、中でも黄色い百合は初めての出会いのものでした、花の谷の入口に戻り昼食、13 時頃より朝レストランで用意した日本食イトルのご飯、みそ汁、宮澤さんが入れてくれたコーヒーはとくにおいしかった。ガイトのボク兄弟も「おいしい」と言って食べていた、出発して約 1 時間してガソス河の流れを聞きながらゆっくり休息をとった、花は幻のブルーポピーが沢山咲いていて全員が向けた。又ここでしか見られないと言う白い花の桜草もさいていた。途中ガンカリヤに入ってから、今夜の夕食は宮澤さんの手料理とのことで(キャベツ・トマト・ナス・マンゴー)等を買ひ物して帰る。16 時ホテル(山小屋)に着く、夕食にはまだ早いので、佐藤・園部さんの部屋で宮澤さんにコーヒーや日本茶を入れてもらい皆で雑談をした。食堂にて夕食、宮澤さんの特別メニュー野菜炒め(キャベツ・トマト・魚肉ソーセージ・ナスの油味噌)毎度のカレーやナン等豪華な食事が出来た。20 時 30 分各自部屋へ戻る、ホテルといっても(山小屋)ダブルベットがあるがすごく湿っぽい布団で気持ちが悪かった、ガンカリヤでは二番目に良いホテルとか、未完成で私達(初野夫妻)の部屋は裸電球だけシャワー室トイレの換気扇は枠だけで換気扇はなく開いたまま、又夜灯りが付くと蚊や名知れない虫が入ってきて最悪、山奥だから仕方ないが発電機が止まると水も出なくなる始末、宮澤・新井さんの部屋は換気扇のない所から夜の訪問者ウツリが入ってきたそうです《記：初野夫妻》

※7 日～14 日の報告は編集都合により次号に続きます。

広報委 岩井田

【積雪期登山講習会に参加して】

防衛医大 1 年 佐藤 周子

1 月 14・15 日の 2 日間、私たち防衛医大山岳同好会 1 年生 3 名は、県岳連主催の積雪期登山講習会に参加させていただき、様々なことを学ばせていただきました。

登山を始めて 1 年にも満たない私たちはまだ基本的なことすら身についていませんでしたが、この講習では服装や装備の知識から雪上歩行や耐風姿勢、滑落停止、ザイルワークなどの実技を基礎から丁寧

に教えていただきました。特に、滑落停止や耐風姿勢などの危険を回避するための技術を丁寧に指導していただいたことが非常に勉強になりました。丁寧に教えていただくことで、逆に積雪期登山がそれだけ危険で、ちょっとしたことがすぐに事故や遭難につながるのだということを改めて認識することができました。登山をするうえで最低限自分の安全を確保できることはとても重要です。これができないならば、日本の多く山には登ることができないでしょう。この講習会ではこうした多くのことを学ばせていただき、私たちのこれからの登山の可能性の幅を広げることができたのではないかと思います。

私たちは今はまだ 1 年生で、先輩方に山に連れて行ってもらい教えていただいている段階ですが、上級生となったら、今度は自分たちが後輩たちを指導する立場になります。そのときには今回学んだことを生かして、私たちのクラブのさらなる発展を目指していきたいと思っています。



ニューおおたか旅館前で参加者

※写真提供は岩崎自然保護委員長

【専門委員会・計画】24 年 1 月～24 年 4 月

① 事務局

- 1/14 : 日山協・新春懇談会（市ヶ谷）
- 1/29 : 新春懇談会/海外登山報告会（浦和）
- 2/11-12 : 平成 23 年度関東地区山岳連盟総会
- 2/14 : 常任理事会（北本）
- 3/13 : 理事会（北本）
- 4/15 : 理事会・評議員総会（北本）

② 指導委員会

- 1/14-15 : 積雪期登山講習会指導員研修会（那須岳）
- 2/11-12 : （大山）、3/18-20（富士山）
- 日山協氷雪技術に関する指導員教育と研修及び A 級主任検定員養成講習会・上級指導員養成講習会
- 2/25-26 : 積雪期緊急避難講習会（遭対と合同）

③ 競技委員会

- 2/4-5 : 日山協競技委員会ブロック別研修会

※競技運営認定・C 級クライミング審判員認定

④ 選手強化委員会

なし

⑤ 遭難対策委員会

- 1/27-29 : 山岳レスキュー講習会（土合山の家）
- 2/（未定）：レスキュー研究会（場所未定）

⑥ 自然保護委員会

なし

⑦ 海外登山委員会

- 1/17 : 臨時委員会・報告会関係（大宮）
- 1/29 : 海外登山報告会（浦和）
- h24 年・エベレスト登山隊募集

⑧ ジュニア委員会

なし

⑨ 広報委員会

- 1/31 : 広報誌 41 号発行予定

⑩ 企画委員会

- 24 年度企画委員会 活性化の取込み案を策定中。

【事務局便り】 敬称略

《受賞おめでとうございませう》

下記の方々が平成 23 年度に表彰・受賞されました。

◎日本体育協会公認スポーツ指導員表彰

⇒新井宏司参与（奥武蔵ハイキングクラブ 代表）

◎平成 23 年度埼玉県体育功労賞

⇒瀬藤武副理事長（浦和溪稜山岳会）

◎第 2 回『日本山岳グランプリ』

⇒平山ユージ（埼玉県岳連推薦）

◎環境省長官賞

⇒県岳連・自然保護委員会

日本山岳会埼玉支部安全登山委員会

第 1 回講習会『AED を用いた心肺蘇生法』お知らせ

日 時：平成 24 年 2 月 12 日 13:00～16:00

場 所：さいたま市大宮区仲町 2-60 仲町川鍋ビル

（株）万代 8F 会議室 048-641-5529

講 師：日本山岳会埼玉支部 渡邊 浩氏

参加費：無 料（申込み先着 30 名）

申込先：JAC 埼玉支部・松本敏夫 090-5338-0118

E-mail 《toshio-matsumoto@com.home.ne.jp》

【編集後書】

昨年末からクライミング 関東大会、コバトカップ、全国高校生クライミング大会、海外報告会、新春懇談会と目白押しのイベントがあつという間に終わりました。気が付いたら広報誌 41 号の編集締切があり、少し遅れての発行にどうにか間に合いました。沢山の原稿に感謝。載せきれないので次回に。しばし休憩……です。

@miwaida